

平成 24 年度 渡島・檜山地方道路防災連絡協議会 豪雪ワーキンググループ江差地区 会議録（要旨）

1. 開催概要

本豪雪ワーキンググループは渡島・檜山管内を 3 地区（江差地区、函館地区、八雲地区）に分けて開催した。

【江差地区】

- 1) 開催日時 : 平成 24 年 10 月 31 日 (水) 14:00 ~ 15:30
- 2) 場 所 : 江差町役場 2 階会議室
- 3) 出席者 : 29 名
- 4) 議 事 :
 1. 開 会
 2. 挨拶
 3. 出席者紹介
 4. 議 事
 - (1) 豪雪 WG 開催について
 - (2) 今年度の実施内容
 - (3) 現状における課題と今後の対応
 - (4) その他
5. 閉 会



写真：江差地区豪雪ワーキンググループの様子

2. 配布資料

- ・ 議事次第、出席者名簿、座席表
- ・ 豪雪ワーキンググループ説明資料（地区別）
- ・ 豪雪時における関係機関の情報共有項目（地区別）
- ・ 参考資料（共通）
- ・ 豪雪等における関係機関情報共有リーフレット（地区別）
- ・ 豪雪時情報共有図（共通）

3. 議事内容

3-1 議事1 豪雪WG開催について

- ・ 昨年度冬期では道内各地で大雪となり、特に今年1月岩見沢市では大規模な豪雪災害が発生。
- ・ 渡島檜山管内においても例年以上の積雪が観測され、今年2月1日には低気圧通過に伴う強風・大雪により国道228号が通行止め、2月25日～27日には大雪の影響により、JRや市電の運休、道道江差木古内線の雪崩発生による一部通行止めなどの交通障害、圧雪による住家や農業施設の倒壊等の被害が発生。
- ・ 地球温暖化をはじめとする気候変動の影響から、今後も降積雪量の変化や短時間での集中的な降雪が増加する傾向にあることから、今後の豪雪発生時に備え、平時からの関係機関との協議の場として豪雪WG会議を開催

3-2 議事2 今年度の実施内容

(1) 基本項目の整理

- ・ 豪雪時等に必要となる関係機関での基本的な情報として以下の項目を整理。

【整理項目】

①豪雪災害対応における連絡体制

- ・ 渡島、檜山管内を3つの地区に分けて連絡体制を整理。
- ・ 各地区単位での協力体制を基本とし、市町村合併を考慮し、除雪エリアを担当する支所別で整理。

表 各道路管理者の管轄状況

	道路事務所 (国道)	出張所 (道道)	市町村
八雲地区	八雲道路事務所	八雲出張所 今金出張所	長万部町、八雲町(旧八雲町)、森町 せたな町、今金町
函館地区	函館道路事務所	事業課	函館市、北斗市、七飯町、鹿部町
江差地区	江差道路事務所 (函館道路事務所)	松前出張所 江差出張所	木古内町、知内町、福島町、松前町 八雲町(旧熊石町)、乙部町、江差町、 厚沢部町、上ノ国町

②各道路管理者の除雪体制

- ・各道路管理者が保有する除雪機械、除雪出動や排雪実施の基準等について整理。
- ・各道路管理者の除雪状況の把握や支援等を依頼する場合の資料としての活用を想定。

③雪堆積場の状況

- ・各道路管理者が現状で管理する雪堆積場の位置や規模等を整理。
- ・その他、緊急時における臨時雪堆積場の必要性、臨時雪堆積場の候補地となりうる場所の有無についても確認。

④除雪機械貸出手順

- ・豪雪災害時において、函館開発建設部及び函館建設管理部から市町村への除雪機械の貸出に関する項目を整理。
- ・基本として地区別で道路事務所（国）及び出張所（道）が窓口となり、その後については各内部規定に基づき貸出等を行う。
- ・規定には示していないが、事前の打診や調整等を行うことを提案。

⑤その他

- ・リエゾン制度と役割、豪雪時等の災害時における活用等について整理。
- ・渡島、檜山管内において、豪雪時に孤立する可能性が高い集落を抽出。

（２）基本項目の整理

- ・上記項目について地区別にリーフレット形式（A2サイズ）で整理することを提案
→「豪雪時等における関係機関情報共有リーフレット」
- ・雪堆積場や孤立集落については別途渡島・檜山管内の図面上に整理
→「豪雪時情報共有図」
- ・「豪雪時等における関係機関情報共有リーフレット」と「豪雪時情報共有図」を今年度の成果として関係機関に配布を予定。

【質問・意見等】

（檜山振興局）北海道の除雪機械貸出等の上部機関は全て渡島総合振興局に統一すること。
（事務局）了解。修正します。

3-3 議事3 現状における課題と今後の対応

（１）現状での課題

①豪雪時の想定

- ・関係機関への支援や応援を要請する際にどのような状況やタイミングで連絡等をおこなうべきかが不明

②豪雪時における雪堆積場の確保

- ・アンケート調査から約3/4の機関が豪雪時では雪堆積場確保が必要であると回答
- ・関係機関間での雪堆積場の相互活用や臨時雪堆積場の確保について検証や把握が必要

③除雪機械貸出

- ・利便性の向上から手続きの簡素化、簡略化についても検討が必要との指摘

- ・費用負担等についても単価（人件費等）やモデルケース（機械1台+オペレータ）での料金提示が望ましい。

（2）今後の対応

①豪雪時の想定

- ・昨年度に札幌開発建設部から除雪機械貸出が行われた月形町の事例を関係機関へ紹介する。

②豪雪時における雪堆積場の確保

- ・今年度については雪堆積場（臨時も含む）に関する情報を共有し、豪雪時等の緊急時においては関係機関間で連絡や調整を実施。
- ・次年度のWGでは平成24年度の冬期間での状況や今回作成した資料等から雪堆積場の確保について各機関との協力方法や対応について提案をお願いする。

③除雪機械貸出

- ・手続きの簡素化等については窓口を道路事務所及び出張所に統一し、フローを明示したことで改善の一步とする。
- ・費用については試算し、後日関係機関へ参考資料として提示する。

【質問・意見等】

（檜山振興局）今年の大雪の際に実際に雪堆積場が不足した事例はあるか？

（事務局）関係機関に発言をお願い。回答は以下の通り。

- ・厚沢部町では臨時に農協の敷地を借りて対応。今年と同様の積雪があった場合、対応可能か心配である。
- ・江差町は限界まで達し、ギリギリの対応であった。
- ・その他の市町村については対応できたとの回答。

3-4 議事4 その他

（1）車両のスタック及び立ち往生等による国道の通行規制の長期化について

- ・最近の国道の冬期通行止めとして大型車のスタックや暴風雪により渋滞が発生し、除雪作業が進まず、長期化する事例を紹介。
- ・対応として、函館開発建設部では渋滞発生が懸念される場合は早期通行規制を行い、関係機関には迅速に情報提供を行う。
- ・関係機関においては通行規制の実施や進入規制（北海道警察）や渋滞が発生した場合には、一時避難所の提供（市町村）等の協力をお願いする。

（2）平常時における関係機関との情報共有の継続

- ・昨年度より函館開発建設部と函館建設管理部間での運搬排雪実施の路線や実施日についてメール等による情報共有を行っており、今年度についても継続する。

【質問・意見等】

特に無し

以上